

アート & カルチャーでねりまをもっと楽しく

NERICUL

(公財)練馬区文化振興協会情報誌「ねりかる」vol.19

2020 Autumn



石神井公園ふるさと文化館開館10周年記念

特集

見に行こう! ふるさと文化館コレクション

見に行こう!

石神井公園ふるさと文化館開館10周年記念

ふるさと文化館コレクション

石神井公園ふるさと文化館は、石神井公園の豊かな水と緑に囲まれた環境の中、練馬区の歴史や文化、自然などについて、体験しながら楽しく学ぶことができる博物館として、平成22(2010)年3月28日に開館しました。隣接する池淵史跡公園内には約130年前の茅葺屋根の民家、旧内田家住宅もあります。

今回は、今年で開館10周年を迎えるふるさと文化館と平成26(2014)年に開室した分室の常設展示の資料の中から、練馬の歴史を語る上で欠かせない資料や他館もうらやむ貴重な資料の数々をご紹介します。

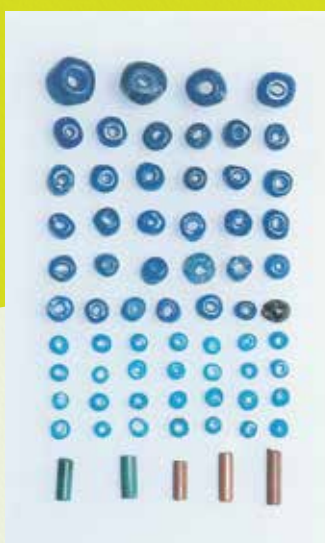


石神井公園ふるさと文化館

あっぱれ、よくぞ残っていた!

練馬区大泉地区を通る東京外環道。この高速道路が建設された時、地下に眠る遺跡がいくつか発掘されました。その一つ、丸山東遺跡では、めったに出土しないものがかいくつも見つかっています。

例えば、弥生時代のお墓からは、美しい青色のガラス玉がたくさん見つかりました。当時ガラス玉は宝ものでしたが、小さいので散逸してしまうことも多く、まとまって残っていることはあまりありません。また、木製の梯子も見つかっています。長い間土に埋まっていると大抵の木製品は腐ってしましますが、この梯子が見つかった場所は、土の中の水分が多かったため、腐らずにちゃんとした形のままで残っていました。いずれも、大変貴重な資料で、東京都や練馬区の文化財になっています。



玉類(都指定文化財)
丸くて青いものはガラス玉、最下段の細長いものは石製の管玉。ビーズのように連ねて、ネックレスのようにしていたようです。



木製の梯子(区指定文化財)
川辺の木道の材として再利用されていたようです。

江戸の水道ここにあり



江戸上水配水図 正徳5(1715)年~享保3(1718)年(区指定文化財)

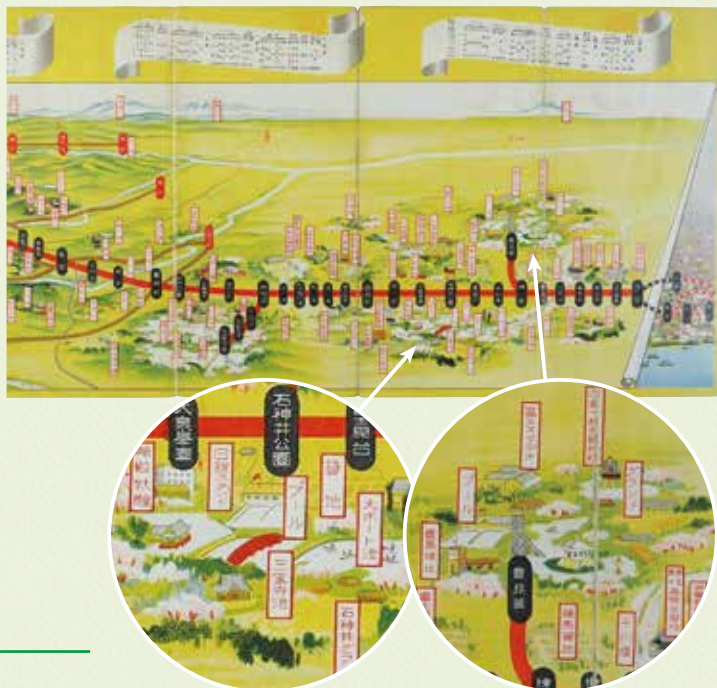
メディア取材は数知れず、江戸時代の水道を語るには必須の、当館のトップスター「江戸上水配水図」を紹介します。百万都市江戸は、埋立地のため、飲料水の入手に苦勞をしました。水不足に対応するため、遠く現在の羽村から多摩川の水を引いて玉川上水を整備し、江戸市中に水道網をめぐらしました。

本絵図には、玉川上水の取水口から江戸市中までの配水の様子がきめ細かく記されています。玉川上水の分水には、千川上水があり、絵図の中央付近から左下に向かって描かれている流路です。千川上水は練馬区域も通り、江戸市中の北部を中心に給水されました。徳川綱吉が御成する施設への給水が目的の1つであったと言われています。千川上水は、昭和26(1951)年より暗渠化され、その名残は千川通りに見られます。

沿線案内図の世界

近代になり、練馬区域でも鉄道が開通すると、沿線での宅地開発や学校の誘致が進むとともに、行楽地が整備されていき、農村からまちへと移り変わっていきます。右のような沿線案内図が各鉄道会社から発行され、観光客誘致のため、特にアピールしたい行楽地などがデフォルメされて描かれました。

右の資料は、大正4(1915)年に池袋駅・飯能駅間で開通した武蔵野鉄道(現・西武池袋線)のものです。練馬区内では特に、石神井公園および豊島園(としまえん)周辺が大きく描かれています。石神井公園には、三宝寺池、昭和9(1934)年に造成された「大ポート池」(石神井池)、かつてあった日本初の100メートルプールなどがあり、これらが見どころであったことがうかがえます。



武蔵野電車沿線案内(部分) 昭和13(1938)年頃



アニメーション撮影台(区登録文化財)

ここから日本のアニメは生まれた

このアニメーション撮影台は、昭和34(1959)年頃に練馬区東大泉にある東映動画(現・東映アニメーション)に導入され、デジタル撮影に移行した平成10(1998)年頃まで現役だったものです。「西遊記」「太陽の王子ホルスの大冒険」「劇場版 銀河鉄道999」ほか多数の名作が生みだされています。

撮影台には複数の段があり、それぞれ自由に動かすことができます。上段に人物のセル画を置き、中段に近景、下段に遠景の背景画を配置するなどして、コマ撮り撮影で映像をつくりました。最上部にあるカメラからの距離がそれぞれ異なるため、画面に自然な遠近感を演出することができました。

映画会社の東映は、昭和31(1956)年に東映動画を設立し、アニメーション制作に積極的に乗り出しました。この多段式の撮影台は、アメリカのウォルト・ディズニー社の事例を参考に、独自に制作されたものです。戦後の本格的長編アニメーション制作の草創期を物語る資料として、練馬区の文化財に登録されています。



草野心平より檀一雄あて電報 昭和50(1975)年11月11日

石神井公園ふるさと文化館 分室

作家同士の友情のあかし

昔の電報です。蛙の詩でおなじみの詩人・草野心平より、友人の作家・檀一雄にあてたもの。草野心平と檀一雄は親友で、お互いの才能を尊敬しあい、若い頃より深い信頼を持ち続けました。二人とも「石神井文士」でもありました。

この電報の頃、草野は72歳。一方、檀一雄は63歳、福岡で病床にありました。文面は「詩集を読み 『火宅の人』の最終回を読み 「波」の口述の文を読み 感動す つらかるうが辛抱されたし そして東京に現われよ」。『火宅の人』は20年という歳月をかけて綴られた檀の代表作。病院でようやく完成した最後の章を読んだ草野心平が、短い電文に簡潔で力強い励ましをこめました。

10月	10月10日(土) 15:00～17:00 練馬文化センター小ホール 厳選! ヴィルトゥオーゾシリーズvol.4 アレサンドロ・ベヴェラリ クラリネット・リサイタル	全席指定 3,500円
	10月17日(土) ①13:30～14:10 ②16:00～17:00 大泉学園ゆめりあホール 第64回ワンコイン・コンサート ①0歳からの楽しい管楽器の世界♪ ②木管五重奏で聴くあの名曲	予定枚数終了
	①10月17日(土) ②18日(日) 両日とも ①15:00～16:30 ②19:00～20:30 練馬文化センター小ホール イッセー尾形の妄ソープ劇場 文豪シリーズその3 [7/11,12延期公演]	完売御礼
	10月23日(金) 18:30～20:45 練馬文化センター小ホール 第145回練馬区民寄席～権太楼・正蔵・権之助～	全席指定 3,000円
	10月31日(土) ①11:00～12:10 ②15:00～16:10 練馬文化センター小ホール みんなであそぼ! 森と劇場のサーカスフェスタ	全席指定 500円 2歳以下ひざ上無料
11月	11月22日(日) 15:00～16:00 練馬文化センター小ホール 劇団M.M.Cミュージカル「星の王子さま」 関連ワークショップ ミュージカルのうらがわをのぞいてみよう!	全席指定 無料 定員100名 (小中学生とその保護者対象)
	11月23日(月・祝) 15:00～16:30 練馬文化センター小ホール 劇団M.M.Cミュージカル「星の王子さま」	全席指定 一般1,500円 中学生以下 800円 2歳以下ひざ上無料
12月	12月17日(木) 18:30～20:00 練馬文化センター小ホール 白石加代子「百物語」シリーズ アンコール公演第三弾	全席指定 5,000円
	12月23日(水) 17:00～18:50 大泉学園ゆめりあホール 山崎バニラの活弁ゆめ絵巻2020～スポーツ・サイレント・コメディ [7/5延期公演]	全席指定 一般2,000円 子ども(4歳～小学生) 1,000円
	[vol.4] 10月14日(水) [vol.5] 11月13日(金) [vol.6] 12月22日(火) 15:00～15:30 練馬文化センター小ホール ねりぶんアフタヌーン・ミニコンサート	無料 ※要事前申込・抽選 問合せ: 03-3993-3311

その他会場

11月	11月14日(土) 11:00～11:45 北町第二地区区民館 まちなかコンサート Vol.40 in 北町	無料 ※要事前申込・抽選 問合せ: 03-3993-3311
12月	12月13日(日) 11:15～12:00 東大泉地区区民館 まちなかコンサート Vol.41 in 東大泉	無料 ※要事前申込・抽選 問合せ: 03-3993-3311

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公演が中止または延期となる場合がございます。各公演の最新情報、ご来館にあたっての注意事項等につきましては、施設のホームページをご確認ください。掲載情報は、2020(令和2)年9月11日現在のものとなります。

チケット購入方法

【電話】03-3948-9000

10:00～17:00/練馬文化センター予約電話
※チケットは、窓口や郵便振替でお引換えができます。

【窓口】 ●練馬文化センター1階チケットカウンター
●大泉学園ゆめりあホール5階事務室受付

10:00～20:00/※予約受付開始日の翌日10:00から、
窓口で購入およびお引換えができます。

特に記載のない公演については、未就学児入場不可。
車いす席、難聴者イヤホンをご希望の方は、予約電話までお申ください。

【インターネット】 <https://www.neribun.or.jp>

事前に利用登録が必要です。(無料)

- ①協会ホームページの「インターネットチケット販売」ボタンをクリック。
- ②「利用登録」から必要事項を入力してください。

●予約方法 登録したメールアドレス、パスワードで「ログイン」するとチケット予約が行えます。
※チケットは、セブン・イレブンや郵送などで受取れます。



シネマミュージック～ NeRima's Choice ～ 心に残る映画音楽を好評配信中!

5月28日(木)～6月15日(月)にかけて募集した「あなたの好きな映画音楽」の中からプロの音楽家による演奏を、YouTube練馬区文化振興協会公式チャンネルで配信しています。

配信チャンネル YouTube練馬区文化振興協会公式チャンネル

- 視聴方法
- QRコードを読み取る
 - YouTubeにて「練馬区文化振興協会」で検索
 - <https://www.youtube.com/user/neribun>を入力



配信曲

映画『ニュー・シネマ・パラダイス』より「愛のテーマ」ほか
出演: 牧原正洋(トランペット)

映画『千と千尋の神隠し』より「いつも何度でも」
出演: 大西宇宙(バリトン)

映画『ティファニーで朝食を』より「ムーン・リバー」ほか
出演: 紗理(ヴォーカル)

その1 イベントレポート EVENT REPORT

練馬区文化振興協会では、観る・聴く・学ぶ・参加するなど、様々なイベントを開催しています。その魅力をレポートします。

「新しい日常」に向けて動き始めた公演

世界中で猛威を振っている新型コロナウイルスの影響で、この春から夏にかけて全国で予定されていたほとんどの催しが中止や延期を余儀なくされました。数ヶ月に渡る自粛期間を経たのち、練馬区の方針や業種別ガイドラインなどをふまえ、練馬区文化振興協会でも対策を講じた上で公演を再開し、動き始めました。



再開後、最初に開催されたのは7月11日(土)に行われた「まちなかコンサートVol.39 in 関区民ホール」でした。定員を超える応募があり、当日は満席となりました。この日を心待ちにしていたのは主催者側だけでなく、お客さんも同じでした。

スタッフのマスクとフェイスシールドの着用、消毒、検温、換気、客席は前後左右1席ずつ開けるなど、感染症対策も万全に行われ、コンサートは幕を開けました。出演者はフルートの浜川慎司さんを中心に、ヴァイオリンの伊藤万桜さん、コントラバスの井口信之輔さん、ピアノの原口沙矢架さん、パーカッションの田村拓也さんと構成されたクラシック音楽のグループ……ですが、ステージ上にはフライパンやら改造されたトイレ掃除用具などが並びます。そう、これらもなんと浜川さんお手製のれっきとした楽器なのです!それだけではなく、生のニンジンまでもが立派な管楽器として登場し、クラシックの名曲に合わせて見事に音を奏でる名器たちに大きな拍手がわき起こりました。

そして翌週の7月18日(土)には、再開後初の有料公演となる「第63回ワンコイン・コンサート」が行われました。第34回練馬区新人演奏会出演者選考オーディションピアノ部門で最優秀賞を受賞した和田華音さんと、ソプラノの足立歌音さんが奏でるドビュッシーやプーランクの曲、ピアフの「愛の讃歌」などフランスにまつわる名曲の美しい旋律にお客さんは心奪われていました。終演後、和田さんは「ホールで演奏する醍醐味は、

まちなかコンサート Vol.39 in 関区民ホール

《関区民ホール》2020(令和2)年7月11日(土)

第63回ワンコイン・コンサート

ソプラノとピアノで聴くフランス音楽の世界

《大泉学園ゆめりあホール》2020(令和2)年7月18日(土)

万作・萬斎狂言の会~孫聲・六地藏~

《練馬文化センター》2020(令和2)年8月3日(月)

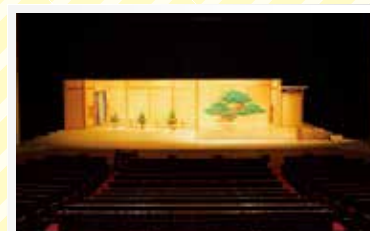
※4月8日(月)からの延期公演



お客さんと一体になれるところ。どんな反応でも同じ場所にいると何かを感じることができるんです。」と話してくれました。なお、新たな試みとして、当日の様子をドキュメンタリー風に追った動画をYouTube練馬区文化振興協会公式チャンネルにて配信しています。

8月3日(月)には4月から延期されていた「万作・萬斎狂言の会」が開催。日程だけではなく、定員50%を守るため当初の小ホールから

大ホールへの変更もあったにも関わらず、当日は多くのお客さんが来場されました。会場変更により小ホール用の能舞台を大ホールの大きさに合わせて違和感のないよう設置したり、見えにくい席が出ないように再配席したりと、これまでと違う公演となりましたが、お客さんの「生の舞台が観たい」という熱望が出演者や主催者の支えとなり、公演の成功へと繋がりました。「お客さんの安全を第一に考えながら、“生の舞台が生活のエネルギーの源になる”と信じ、公演を開催することで喜んでいただけたら…」と事業担当者は語ります。



どの会場も、入場時にはコロナ禍で緊張していたお客さんの顔が公演が進むにつれてほころび、終演時には会場が柔らかな空気に包まれていたのを感じました。「久しぶりの公演は楽しかった」「気持ち明るくなった」「本当に来て良かった!」との声が多く聞かれ、生の舞台に触れることが、いかに観る人の心を明るく豊かにしてくれるものなのかわかりました。

以前のような生活がまもなくなくなった今、これからは芸術鑑賞も新しい方法を模索していく時代に移っていくのかもしれませんが、出演者も主催者もどうすれば多くのお客さんの期待に応えられるか試行錯誤をしています。そこから今までにない舞台芸術のスタイルが誕生するのをもたまた楽しみます。

式場隆三郎：脳室反射鏡

10月11日(日)～12月6日(日)

式場隆三郎(1898-1965)は現在の新潟県五泉市に生まれ、新潟医学専門学校に学んだ精神科医でした。医業のかたわら、民藝運動、ゴッホ論、精神病理学入門、性教育にまでわたって健筆をふるい、著書は約200冊に及びます。ゴッホ複製画展や山下清展などの事業も手がけ、幅広い大衆の関心と趣味を先導しました。その極めて広範な活動は、私たちの芸術観、例えば「天才/狂気」「制作/宿命」「芸術/生活」といった観念の形成に大きな力がありました。幅広く時代に導かれ、幅広く時代を導いた式場は、近現代日本の文化史に重要な文脈を与えました。本展ではその多彩な足跡を、約200点の作品・資料を通じてたどります。

時間 10:00～18:00 **休館日** 月曜日 ※ただし、11月23日(月・祝)は開館、11月24日(火)は休館。

観覧料 一般1,000円、高校・大学生および65～74歳800円、中学生以下および75歳以上無料、その他各種割引あり
(一般以外の方は年齢等の確認できるものをお持ちください)

共催：読売新聞社/美術館連絡協議会 協賛：ライオン/大日本印刷/損保ジャパン/日本テレビ放送網 後援：日本民藝協会/新潟大学医学部学士会(有壬会)
特別協力：医療法人式場病院 助成：公益財団法人ポーラ美術振興財団

ココがおすすめ!

逸話満載の生涯を、「芸術と医学～式場隆三郎の青年期」「芸術と宿命～美術と文学をめぐる仕事」「芸術と生活～民藝運動との関わりを中心に」の各コーナーで展観。



左/河井寛次郎「三色打葉扁壺」1962年頃、式場旧蔵 中上/ゴッホ「ラングロア橋(アルルの跳ね橋)」複製、式場旧蔵 中下/式場邸応接間(柳宗悦・濱田庄司ほか設計、1939年竣工) 右/自身の陶磁器コレクションを眺める式場隆三郎

練馬区立美術館開館35周年記念展

35年の35点 コレクションで振り返る練馬区立美術館(仮)

12月12日(土)～2021(令和3)年2月14日(日)

1年毎に一つの展覧会出品作を取り上げ、35年間の練馬区立美術館の歴史を振り返ります。1985年の「田崎廣助展」から1993年の「木村荘八展」、2007年「賛美小舎 上田コレクション」、2015年の「小林清親展」など、作品とともに当時のチラシやポスターも展示します。



木村荘八《静物》1919年 油彩・キャンバス



田崎廣助《武蔵野の早春》1940年 油彩・キャンバス

時間 10:00～18:00

休館日 月曜日 ※ただし、1月11日(月・祝)は開館、
年末年始12月29日(火)～1月3日(日)、1月12日(火)は休館。

観覧料 無料 会場は2階展示室のみ

ココがおすすめ!

練馬区立美術館の歴史年表をたどるような展示空間となります。

特別展「昭和のこどもたち」

11月28日(土)～2021(令和3)年1月16日(土)

なつかしの昭和30年代をテーマに全国を巡回し好評を博している人形作家・石井美千子氏の作品展です。

時間 9:00～18:00

休館日 月曜日 ※ただし、1月11日(月・祝)は開館、
年末年始12月29日(火)～1月3日(日)、
1月12日(火)は休館。

観覧料 一般300円、高校・大学生200円、65～74歳
150円、中学生以下および75歳以上無料、
その他各種割引あり
(一般以外の方は年齢等の確認できるものをお持ちください)



「ビー玉」©石井美千子JAPAN 写真・山本邦彦

ココが
おすすめ!

「こんな子いたよね、あんな子いたよね」人形たちの織り成す昭和レトロの世界をお楽しみ下さい。

ふるさと文化館 常設展示 観覧料:無料

ふ=ふれあい(交流)、る=ルーツを知り、さ=さわることができて(体験型展示)、と=とりかえられる(定期的に更新)をコンセプトに、練馬区の歴史、民俗、伝統文化、アニメーションに関する展示を行っています。

分室 常設展示 観覧料:無料

作家・檀一雄の書齋再現をはじめ、練馬区ゆかりの文化人42人の紹介等や区ゆかりの時代小説家の五味康祐の貴重なオーディオ装置等を展示しています。

展覧会および関連イベントの最新情報、ご来館にあたっての注意事項等につきましては、施設のホームページをご確認ください。掲載情報は、2020(令和2)年9月11日現在のものとなります。



練馬区文化振興協会では、
観る・聴く・学ぶ・参加するなど、
様々なイベントを開催しています。
その魅力をレポートします。

日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパン—200年の肖像

《練馬区立美術館》2020(令和2)年6月2日(火)～6月28日(日)

※4月26日(日)開幕予定からの延期開催

75年前に戦争があった—資料が語る戦時下の暮らし—

《石神井公園ふるさと文化館》2020(令和2)年6月20日(土)～8月15日(土)

やっぱり展覧会はいいね! 新たな試みで鑑賞する美術館・博物館

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約2か月間休館していた練馬区立美術館、石神井公園ふるさと文化館が順次、展覧会を再開しました。全てのイベントに対し、両館スタッフともマスクとフェイスシールドの着用、消毒、三密の回避などの対策を講じ、緊張感を持っての開催となりました。

6月2日(火)には練馬区立美術館で、開催が延期されていた「ショパン—200年の肖像」展の初日を迎えました。会期が予定より短縮されたこともあり、終盤には入場制限を実施するほどの来館がありました。本邦初公開となった、貴重なショパン自筆の楽譜や手紙、美術品など、多くの方が「美術館でショパンに出会う」という新たな体験をした1か月となりました。

また、8月9日(日)から開催の「Re construction 再構築」展

では、「アーティストトーク」が、会場での実施から動画配信へ変更されるなど、感染症対策をきっかけに、オンラインでも美術館を楽しめるように新たな取り組みが始まりました。

ふるさと文化館では5月28日(木)から常設展示等が順次再開し、6月20日(土)からは企画展「75年前に戦争があった」展も開催されました。展示室内は展示物がゆとりを持って



配置され、離れても見やすいように説明パネルの文字を大きめにするなどの工夫がなされました。関連の講演会も定員を当初予定の90名から30名へと大幅に減らし、座席の間隔を空け、講師の前に透明な仕切り板を設置するなどの対策が行われました。対策を講じることで制限は出てきてしまいますが、「忘れてはいけない、戦争という歴史」の存在を、現代の私たちに訴えかける貴重な機会になったことに変わりはありません。

これまでとは少し違う展覧会のかたちに、観る方も迎える方もなんとなく気持ちが落ち着かなかったり、とまどいを感じたりしたかもしれません。しかし実際に展覧会へ足を運ぶと、心満たされる何かがあります。まだまだ制限はありますが、美術館・博物館が日常に彩りを与えてくれる場所であることに変わりはありません。



「ショパン—200年の肖像」展 休憩スペースを活用したグッズコーナーや入場制限時の待機場所として一般ギャラリーを利用するなど館内全体を活用して実施



練馬区立 石神井公園

ふるさと文化館 分室
NERIMA SHAKUJIKOEIN FURUSATO MUSEUM

☎ 03-5372-2572

[住所] 練馬区石神井台1-33-44
石神井松の風文化公園管理棟内
(西武池袋線「石神井公園」駅下車徒歩15分)

[FAX] 050-3352-2983

[開室時間] 9:00~18:00

[休館日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)、年末年始、臨時休室日
観覧無料



練馬文化センター
NERIMA CULTURE CENTER

☎ 03-3993-3311

[住所] 練馬区練馬1-17-37
(西武池袋線・西武有楽町線・
都営大江戸線「練馬」駅下車
徒歩1分)

[FAX] 03-3991-9666

[休館日] 年末年始
(保守点検日は、一部施設のご利用ができません)



大泉学園

ゆめりあホール
OIZUMIGAKUEN YUMERIA HALL

☎ 03-5947-2351

[住所] 練馬区東大泉1-29-1
(西武池袋線「大泉学園」駅
下車徒歩1分)

[FAX] 03-5905-2021

[休館日] 年末年始
(保守点検日は、一部施設の
ご利用ができません)



練馬区立 石神井公園

ふるさと文化館
NERIMA SHAKUJIKOEIN FURUSATO MUSEUM

☎ 03-3996-4060

[住所] 練馬区石神井町5-12-16
(西武池袋線「石神井公園」駅下車徒歩15分)

[FAX] 03-3996-4061

[開館時間] 9:00~18:00 (会議室の利用は21:30まで)

[休館日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)、
年末年始、臨時休館日

[料金] 常設展示は観覧無料(特別展は有料)



練馬区立美術館
NERIMA ART MUSEUM

☎ 03-3577-1821

[住所] 練馬区貫井1-36-16
(西武池袋線「中村橋」駅
下車徒歩3分)

[開館時間] 10:00~18:00
(入館は17:30まで)

[休館日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)、
年末年始、展示替えなど
による準備期間中

[料金] 展覧会により異なる



ご来館予定のみなさまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止の
対策にご協力をお願いします。



マスク



手洗い



咳エチケット



十分な間隔



体調不良



入場制限

- ・マスクをご着用ください。
- ・咳エチケット、手洗いなどにご協力ください。
- ・館内では、隣の方と十分に距離を保ってください。
- ・体調に不安のある方は、来館をご遠慮ください。
- ・入場制限等を実施する場合がございます。

公益財団法人 練馬区文化振興協会 友の会 会員募集中!

年会費:2,500円(税込)
会員期間:入会月から1年間

公益財団法人練馬区文化振興協会が管理運営している施設の公演や展覧会などがお得に楽しめます!

特典
いっぱい!

- 1 情報誌を毎月郵送
- 2 チケット10%オフ
・練馬文化センター
・大泉学園ゆめりあホール
- 3 チケット優先予約
・練馬文化センター
- 4 展覧会にご招待
・石神井公園ふるさと文化館
・練馬区立美術館
- 5 会員限定イベント
・石神井公園ふるさと文化館
・練馬区立美術館

*各特典には条件があります。

入会申込

- 窓口
- 郵便振込
- インターネット

いずれのお手続きでも料金は2,500円です。

*郵便振込の場合、別途振込手数料がかかります。

*各特典や入会方法など、詳しくは
<https://www.neribun.or.jp/> をご覧ください。

